



ノコギリ木工



ここでご紹介する新しい木工方法を**ノコギリ木工**と呼んでいます。ドリル以外の電動工具を使わずに楽しむ木工です。主役は簡単な自作道具とノコギリなどの手工具で「静か・安全・きれい」が特長です。静かならマンションでもできますし、安全なら誰もが安心して楽しめます。切り屑も電動工具のように広範囲に飛び散ることなく、きれいな作業環境が保てます。

目指しているのは本格木工です。「簡単だけど雑な木工」ではありません。釘を使わない、木組みの木工です。

ノコギリ木工は、ご自宅で楽しむことが基本です。作業台自体の大きさは1/3畳かそれ以下です。これで充分木工が楽しめます。

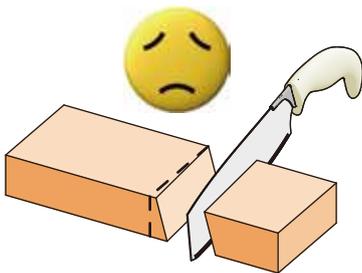
「超画期的木工テクニック集」はノコギリ木工について書かれた本です。ぜひご一読ください。



超画期的木工テクニック集
ISBN9784883935840
スタジオタッククリエイティブ
¥2,800+消費税

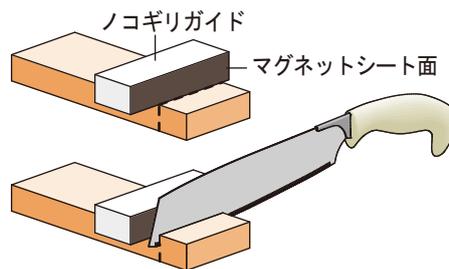
従来木工と何が違うのか

1 直角に切れない



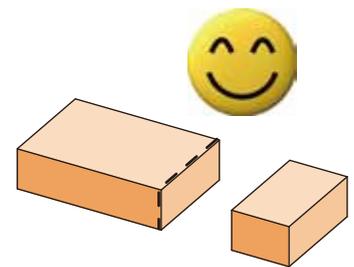
従来木工では、ノコギリで直線・直角に切るのはとてもむずかしく、高度な技術が必要です

2 ノコギリガイドを使う



ノコギリ木工では、マグネットシートを付けたノコギリガイドを使います。ノコ刃がマグネットシートに吸い付くので、それにまかせて切るだけです

3 直角に切れた！



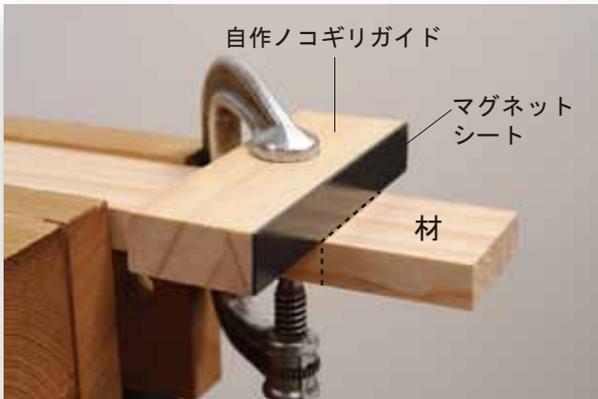
直線も直角も、とても簡単！これが**ノコギリ木工**です

私たちは、材を直線・直角に加工するとき、電動工具に頼ってきました。もしノコギリでも直線・直角に材が切れれば、危険な電動工具に頼る必要はなくなります。それを可能に

したのが**ノコギリ木工**です。市販のノコギリガイドと大きく異なる点は、本格木工に欠かせない、加工精度の高さと応用範囲の広さです。横挽きと縦挽きを例にご説明します。

横挽き

(材の木目を横切るように切るときの呼び名)



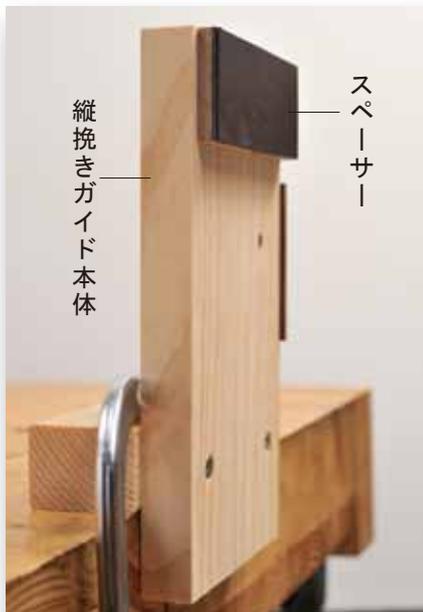
材を切り落とす際、その位置に自作のノコギリガイドをクランプします。ノコギリガイドにはマグネットシートという、磁石の粉をゴムに混ぜたシートが貼ってあります。写真の黒く見える部分です。



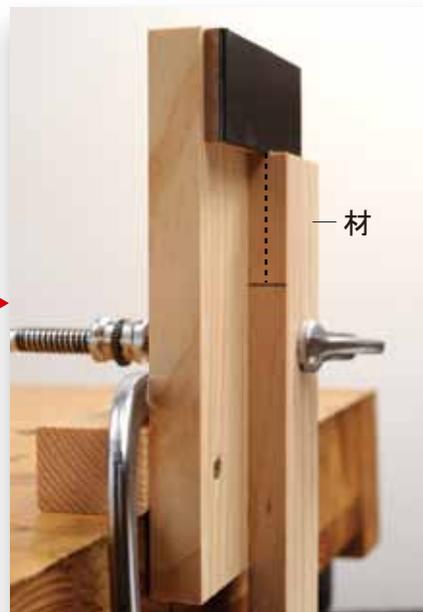
ノコギリはマグネットシートに、吸い寄せられるようにぴたっと付きます。この状態で材を切れば、まっすぐ、直角にカットできます。

縦挽き

(材の木目にそって切るときの呼び名)



縦挽きガイドという自作ジグです。上部に付いている黒く見える部分をスペーサーといいます。合板にマグネットシートを貼ったものです。両面テープで縦挽きガイド本体につけます。



材を縦にクランプします。スペーサー一面がノコギリの切り込み線です。



ノコギリをスペーサーにくっつけたままで切れば、非常に正確な縦挽きができます。

ノコギリ木工にご興味がある方は下記にご連絡ください。
杉田豊久「超画期的木工テクニック集」著者メールアドレス
mirai@momo.so-net.ne.jp

Level 1 相欠き継ぎ



相欠き継ぎは接着面積が広く、丈夫な継ぎ手です。製作もノコギリ木工なら簡単かつ高精度です。前ページの縦挽きした材に、横挽きで紹介した、ノコギリガイドを使い、不要部分を切り落とせば完成です。従来木工で、ここまでの精度の相欠き継ぎを皆さんはどのように製作しますか。



2材とも同様に加工すれば、写真のような相欠き継ぎを製作できます。こうした方法で加工すると、とても精度の高い、いろいろな継ぎ手製作が可能になります。



作品例

Level 2



包み継ぎの箱づくり

ここで箱モノ製作の基本を学びます。製作するのは底板とフタの付いた箱で、カトラリーボックスの製作などに応用できます。さらに引き出し付きの小物入れもこの継ぎ手で製作可能です。本の56ページ「包み継ぎの箱を作る」に載っています。



Level 3



西洋カンナ

カンナを避けて通る本格木工はあり得ません。種類と使い方、そして体験。刃研ぎガイドを使う研ぎの習得。砥石の面直し。削り棒によるカンナがけの練習など。西洋カンナなら使い始めたその日から薄いカンナ屑が出せます。そのための刃研ぎを簡単、確実にこなす方法を体験します



難しくない本格木工

カンナなしの本格木工はあり得ないのですが、刃を研いだり調整することがとても難しいため敬遠されています。そこで調整がいらず、誰でも簡単に刃が研げ、切れ味の優れた西洋カンナを使います。日本のカンナを自動車に例えると、それはレースカーです。エンジンや足回りをメカニックが頻繁に調整し、運転もプロの職人ドライバーが必要です。一方、西洋カンナはスポーツカーに例えることができます。エンジンや足回りを頻繁に整備する必要はなく、プロの職人ドライバーでない、私たちが運転できるからです。西洋カンナは誰が使っても同じ結果を出せる、優れたカンナなのです。

日本の木工に西洋カンナを導入したり、縦挽きガイドなどのジグを使うことで、本格木工を目指す考え方は今までにありませんでした。「ノコギリ木工」は全く新しい発想から生まれた作品作りのアプローチ方法です。

